

## 消雪&散水ノズル 製品注意事項

・製品注意事項・材質について・点検/メンテナンス

### 製品注意事項:

- ① ホームページ・カタログに掲載されているノズル製品は「業務用」です。「一般家庭用」ではありませんので製品の取り扱いには注意してください。また、製品本来の用途以外では使用しないでください。想定外の事故の原因になります。
  - ② 製品に変形や亀裂、磨耗等の異常が生じると破損する恐れがありますので、直ちに使用を中止し、製品を交換してください。
  - ③ 製品のねじが緩んでいたりすると事故の原因になります。製品を使用する前に点検を行ってください。
  - ④ 製品に過度のねじれや曲げを与えた状態で使用すると強度が低下し、破損する場合がありますので、正しい使い方で使用してください。
  - ⑤ 製品を故意に変形させたり溶接したり等、製品を改造して使用しないでください。想定外の事故の原因になります。
  - ⑥ ステンレス製品に異種金属を長時間接触させないでください。腐食の原因になります。
  - ⑦ 酸やアルカリを用いる場所や急激な温度変化を伴う環境においては、製品の強度が低下する原因になります。そのような環境では使用しないでください。
- 上記の注意事項を熟知した上で当社製品をお取り扱いください。また、誤った使用や不適切な取り扱い等によって生じた損害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
  - 製品改良のため、予告なくサイズや仕様等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
  - 各製品の画像は実際の色とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 材質について:

### ■ステンレス鋼 鋳鋼品

材 質	相当する鋼材	特長および用途
SCS1	SUS410	SCS13 より強度はあるが耐食性に劣る。 ローラー、機械部品など。
SCS2	SUS420J1	SCS1 より焼入れ効果が大きく硬度あり。 製紙関係、水処理関係など。
SCS11	SUS329J1	二相組織。耐摩耗性、耐孔食性に優れている。 海水用ポンプ、各種産業部品など。
SCS13	SUS304	最も汎用的な材質。 バルブ・ポンプ、建築資材、各種産業部品など。
SCS14	SUS316	SCS13 より耐食性に優れている。 バルブ・ポンプ、食品機械、各種産業部品など。
SCS16	SUS316L	SCS14 より耐粒界腐食性に優れている。 化学、薬品機械部品など。
SCS18	SUS310S	高温耐食性に優れている。 化学機械部品など。
SCS24	SUS630	高い強度を持ち耐摩耗性に優れ、耐食性あり。 製紙部品、機械部品など。

ステンレスは、表面に形成される独特の保護皮膜によって腐食に強い材質です。

保護皮膜は酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。

ステンレスの表面が汚れている場合、酸素との接触が妨げられるのでサビが発生することがあります。サビない金属がではなく、サビにくい金属という認識をお願いいたします。

サビが発生しやすい状態

- 塩素系洗剤がステンレス部品に付着した場合。
- 海岸沿いなどで塩分が付着する場合。
- ばい煙、排ガス、塩酸、温泉蒸気、火山の噴煙などが付着した場合。

「もらいサビ」

上記のような状態では、ステンレスが「もらいサビ」を起こす可能性があります。

他の鉄製製品(釘やボルト、ナットなど)のサビが表面に付着したり、土埃の中の微細な鉄粉がステンレスにこびりつき、雨水などが原因でサビてこびりつくのが「もらいサビ」です。もらいサビは専用クリーナーなどでこすり落としてください。(表面に傷がつくことがあります。)

「もらいサビ」が落ちない場合は、サビが進行してステンレス自身にサビが生じたものと考えられます。一旦発生したサビは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意して日頃からこまめにお手入れをしてください。本格的なサビの発生を防ぐことができます。

「電食」

例えばステンレスワイヤーロープにアルミ製クランプ管を使用するなど、ステンレスに異種金属を接続して使用した場合、使用する環境(海水中や水気の多い場所など)によっては異種金属接触腐食(ガルバニック腐食)が生じる恐れがあります。この場合ステンレスはアルミよりも腐食電位が上位の金属であり、下位のアルミの方に腐食が起きてしまいます。これを「電食」と言います。

ステンレス製品に金具を接続する場合は、同等鋼種のステンレス金具を使用することをお勧めします。

## 点検/メンテナンス:

< 消雪・散水ノズルのメンテナンス方法 >

- (1) 埋設ノズル及び露出ノズルの散水孔が詰まった場合は、散水孔清掃工具にて詰まりを解消してください。
- (2) 水量調整は専用の十字ハンドルマイナスドライバーにて、左右に回転をすることで散水飛距離を調整することができます。(埋設ノズル・露出ノズル共通)
- (3) 管内清掃は末端部ドレーンの内部プラグを取り外し、ポンプを作動して管内のゴミや砂を排泄してください。シーズンを迎える前の清掃をお願いいたします。

その他ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。